



## 2024年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月4日

上場会社名 株式会社サーラコーポレーション 上場取引所 東 名  
コード番号 2734 URL <https://www.sala.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 グループ代表・CEO (氏名) 神野 吾郎  
問合せ先責任者 (役職名) 総務部総務グループマネージャー (氏名) 市川 伸一 TEL 0532-51-1182  
配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年11月期第3四半期の連結業績（2023年12月1日～2024年8月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第3四半期	176,425	△2.7	4,626	6.6	5,789	0.9	3,980	△18.8
2023年11月期第3四半期	181,291	4.8	4,341	△26.7	5,736	△25.2	4,903	△8.4

(注) 包括利益 2024年11月期第3四半期 4,489百万円 (△12.8%) 2023年11月期第3四半期 5,147百万円 (△14.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期第3四半期	62.13	-
2023年11月期第3四半期	76.76	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年11月期第3四半期	192,964	81,561	41.5
2023年11月期	189,267	78,645	40.8

(参考) 自己資本 2024年11月期第3四半期 79,995百万円 2023年11月期 77,179百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	-	13.00	-	13.00	26.00
2024年11月期	-	13.00	-	-	-
2024年11月期（予想）	-	-	-	17.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年11月期の連結業績予想（2023年12月1日～2024年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	255,000	5.3	6,300	3.6	8,000	1.6	5,400	△11.5	84.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年11月期3Q	66,041,147株	2023年11月期	66,041,147株
② 期末自己株式数	2024年11月期3Q	1,862,970株	2023年11月期	2,093,710株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年11月期3Q	64,068,061株	2023年11月期3Q	63,878,875株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(セグメント情報等の注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(重要な後発事象の注記)	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善が進み、緩やかな回復基調で推移したものの、中東情勢の緊迫化をはじめとする不安定な国際情勢や急激な円高の進行による影響が懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

このような状況のなか、サーラグループは、2023年11月期を初年度とする第5次中期経営計画における重点戦略『ライフクリエイティブ事業ユニット\*でのサービス・事業開発と事業形態の変革』、『期待を上回る「顧客体験」を通じてブランド価値を高める』、『グループ内外との「共創」による事業創造』、『既存事業分野の収益力向上』、『「自ら考え、行動する」人が集う組織風土への変革』への取組みに注力しました。2年目となる当連結会計年度は、カーボンニュートラル推進につながる新たな成長分野への積極的な投資やDX（デジタルトランスフォーメーション）による事業構造の抜本的な改革に引き続き取り組み、同計画の達成に向けて各施策を積極的に推進しています。

当第3四半期連結累計期間におきましては、エネルギー&ソリューションズ事業のサーラエナジー株式会社は、デジタル技術の活用により従来のガス種（都市ガス、LPガス）ごとに分かれた業務の変革を図り、お客さま一人ひとりに合わせた質の高いサービスを提供するため基幹システムの再構築を進めました。

また、同社は静岡県浜松市内に建設中の「サーラ浜松蓄電所」に続く取組みとして、東三河バイオマス発電所敷地内において、再生可能エネルギー併設型蓄電所の建設に向けた準備を進めました。

ハウジング事業のサーラ住宅株式会社は、LCCM（ライフ・サイクル・カーボン・マイナス）住宅及びZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）基準に対応した注文住宅商品「SINKA（シンカ）」シリーズに、断熱性能を強化するとともに全館空調システムを搭載した新商品「SINKA Ult-air（アルテア）」をラインアップに加え、2024年6月に販売を開始しました。

アニマルヘルスケア事業の株式会社アスコは、2024年3月に同業の同和化学株式会社の全株式を取得し子会社化しました。これにより、同社は中部エリアにおける経営基盤の強化を実現しました。

まちのにぎわいづくりに向けてサーラグループが参画する豊橋駅前大通二丁目地区再開発事業につきましては、2021年11月開業の「emCAMPUS（エムキャンパス）EAST」に続き、2024年4月に「emCAMPUS（エムキャンパス）WEST」が竣工し、同年7月より各施設、店舗を順次開業するとともに分譲マンション「ザ・ハウス豊橋WEST」の引渡しを開始しました。

さらに、セグメントの枠を越えた連携として、暮らしの事業領域において中古住宅流通事業の展開に取り組むとともに、BtoBのお客さまに向けてカーボンニュートラル診断を通じたソリューション提案を推進するため、営業体制の充実に取り組みました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、エネルギー&ソリューションズ事業が大幅な減収となったことから、売上高は前年同期比2.7%減の176,425百万円となりました。利益面はハウジング事業において収支改善に進展がみられたことに加え、エネルギー&ソリューションズ事業が増益となったため、営業利益は前年同期比6.6%増の4,626百万円となりました。経常利益は営業外収益の為替予約に係るデリバティブ評価益が縮小したことから、前年同期比0.9%増の5,789百万円となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期の業績には特別利益として退職給付制度改定益が含まれていたため、前年同期比18.8%減の3,980百万円となりました。

※「ライフクリエイティブ事業ユニット」エネルギー事業以外の暮らしの事業領域を指します。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

#### エネルギー&ソリューションズ事業

売上高91,607百万円（前年同期比8.0%減）、営業利益3,406百万円（前年同期比12.7%増）

原料費調整制度に基づき都市ガス販売価格を下方調整したことにより、売上高は減少しました。利益面は、都市ガス、LPガスともにガス販売量は減少したものの、経費の抑制に努めたことにより販売費及び一般管理費が減少したことから、営業利益は増加しました。

#### エンジニアリング&メンテナンス事業

売上高22,120百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益1,822百万円（前年同期比8.7%減）

設備部門及び土木部門の完成工事が減少したもののメンテナンス部門が堅調に推移したことにより、売上高は微増となりました。利益面は、土木部門において完成工事粗利益が減少したことにより営業利益は減少したものの、引き続き高い水準を維持しました。

#### ハウジング事業

売上高24,179百万円(前年同期比6.7%増)、営業損失91百万円(前年同期は営業損失498百万円)

住宅販売部門は分譲住宅の販売棟数の増加に加え、前期に販売を開始した新商品シリーズの受注が伸長し、注文住宅の販売棟数が増加しました。一方、住宅部資材加工・販売部門は愛知県東部・静岡県西部エリアの新設住宅着工戸数が減少した影響により、取引先からの受注が減少しました。以上により、セグメント全体では住宅販売棟数の増加が寄与し、売上高は増加し、営業損失は縮小しました。

#### カーライフサポート事業

売上高12,074百万円(前年同期比9.8%減)、営業損失270百万円(前年同期は営業損失187百万円)

フォルクスワーゲンは主力車種のモデルチェンジを控えており、入荷台数が減少したことにより新車販売台数が減少しました。また、新車販売が低調に推移したことに伴い、下取り車が減少したためフォルクスワーゲン、アウディともに中古車販売台数は減少しました。以上により、売上高は減少し、営業損失を計上しました。

#### アニマルヘルスケア事業

売上高19,360百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益99百万円(前年同期比62.8%減)

畜産部門は飼料価格の高止まりの影響から動物用医薬品等の受注は低調に推移しましたが、ペット関連部門において新規顧客との取引拡大が寄与し、売上高は増加しました。利益面は、動物用医薬品等の仕入価格の上昇並びに販売費及び一般管理費が増加したため、営業利益は減少しました。

#### プロパティ事業

売上高5,751百万円(前年同期比80.2%増)、営業利益51百万円(前年同期は営業損失22百万円)

不動産部門は、2024年4月に竣工した分譲マンションの引渡しを開始したため、売上が大幅に増加しました。また、ホスピタリティ部門において経済活動の正常化に伴い宴会やレストランの利用客数が増加したことから、売上高、営業利益はともに増加しました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### ① 資産、負債、純資産の状況

##### (資産)

資産は192,964百万円と、前連結会計年度末と比較して3,697百万円増加しました。これは主に、「有形固定資産」が2,439百万円増加したこと、「現金及び預金」が1,753百万円増加したこと、「商品及び製品」が1,349百万円増加したことに対し、「仕掛品」が2,143百万円減少したことによるものであります。

##### (負債)

負債は111,402百万円と、前連結会計年度末と比較して781百万円増加しました。これは主に、「長期借入金(1年内返済予定を含む)」が4,770百万円増加したこと、流動負債の「その他」が433百万円増加したことに対し、「支払手形及び買掛金」が2,857百万円減少したこと、「短期借入金」が1,758百万円減少したことによるものであります。

##### (純資産)

純資産は81,561百万円と、前連結会計年度末と比較して2,915百万円増加しました。これは主に、「利益剰余金」が2,263百万円増加(親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により3,980百万円増加、配当の実施により1,716百万円減少)したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動による資金の増加10,178百万円、投資活動による資金の減少9,191百万円、財務活動による資金の増加814百万円となり、あわせて1,802百万円増加いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の資金は24,349百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、10,178百万円(前年同四半期は3,045百万円の資金の獲得)となりました。これは主に、「税金等調整前四半期純利益」5,731百万円、「減価償却費」4,928百万円、「売上債権の減少額」3,018百万円、「棚卸資産の減少額」1,040百万円などの増加要因と、「仕入債務の減少額」3,487百万円、「法人税等の支払額」1,076百万円などの減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、9,191百万円(前年同四半期は4,812百万円の資金の使用)となりました。これは主に、「有形固定資産の取得による支出」8,892百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、814百万円(前年同四半期は56百万円の資金の使用)となりました。これは主に、「長期借入れによる収入」10,309百万円の増加要因と、「長期借入金の返済による支出」5,926百万円、「短期借入金の純減額」1,758百万円、「配当金の支払額」1,708百万円などの減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2024年7月5日に公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,966	24,720
受取手形、売掛金及び契約資産	32,254	30,358
電子記録債権	1,834	2,193
商品及び製品	13,988	15,337
仕掛品	7,477	5,333
原材料及び貯蔵品	444	486
その他	5,970	6,139
貸倒引当金	△186	△272
流動資産合計	84,750	84,297
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,306	20,966
機械装置及び運搬具(純額)	7,141	7,200
導管(純額)	14,848	15,090
土地	32,431	32,285
建設仮勘定	1,760	3,366
その他(純額)	1,418	1,436
有形固定資産合計	77,906	80,346
無形固定資産		
のれん	263	256
その他	2,553	3,359
無形固定資産合計	2,816	3,615
投資その他の資産		
投資有価証券	8,897	10,053
長期貸付金	2,412	1,819
退職給付に係る資産	2,221	2,261
繰延税金資産	3,848	3,652
その他	6,858	7,353
貸倒引当金	△444	△434
投資その他の資産合計	23,793	24,705
固定資産合計	104,517	108,667
資産合計	189,267	192,964

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,225	23,368
電子記録債務	4,379	3,942
短期借入金	8,579	6,821
1年内返済予定の長期借入金	7,273	7,949
未払法人税等	341	407
賞与引当金	2,582	2,928
役員賞与引当金	9	4
完成工事補償引当金	47	49
工事損失引当金	55	65
ポイント引当金	234	233
その他	10,670	11,104
流動負債合計	60,399	56,874
固定負債		
長期借入金	36,989	41,083
繰延税金負債	524	874
役員退職慰労引当金	165	169
株式報酬引当金	502	439
修繕引当金	125	141
退職給付に係る負債	8,668	8,888
その他	3,245	2,931
固定負債合計	50,221	54,527
負債合計	110,621	111,402
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,025	8,025
資本剰余金	25,300	25,307
利益剰余金	42,326	44,590
自己株式	△1,383	△1,231
株主資本合計	74,267	76,690
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	985	1,429
繰延ヘッジ損益	442	498
退職給付に係る調整累計額	1,483	1,377
その他の包括利益累計額合計	2,911	3,305
非支配株主持分	1,466	1,565
純資産合計	78,645	81,561
負債純資産合計	189,267	192,964



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
売上高	181,291	176,425
売上原価	139,170	133,524
売上総利益	42,121	42,900
販売費及び一般管理費	37,779	38,273
営業利益	4,341	4,626
営業外収益		
受取利息	43	33
受取配当金	93	105
デリバティブ評価益	764	559
持分法による投資利益	285	324
その他	409	378
営業外収益合計	1,596	1,401
営業外費用		
支払利息	112	157
その他	88	81
営業外費用合計	201	239
経常利益	5,736	5,789
特別利益		
固定資産売却益	43	99
投資有価証券売却益	60	—
退職給付制度改定益	2,388	—
特別利益合計	2,492	99
特別損失		
固定資産除売却損	92	151
投資有価証券売却損	33	6
減損損失	800	—
特別損失合計	926	158
税金等調整前四半期純利益	7,301	5,731
法人税、住民税及び事業税	1,022	1,246
法人税等調整額	1,254	389
法人税等合計	2,276	1,635
四半期純利益	5,025	4,095
非支配株主に帰属する四半期純利益	121	114
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,903	3,980

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
四半期純利益	5,025	4,095
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	332	445
繰延ヘッジ損益	△84	55
退職給付に係る調整額	△124	△106
その他の包括利益合計	122	394
四半期包括利益	5,147	4,489
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,026	4,373
非支配株主に係る四半期包括利益	121	115

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,301	5,731
減価償却費	4,942	4,928
減損損失	800	—
のれん償却額	90	90
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11	△27
賞与引当金の増減額(△は減少)	183	346
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4	△5
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△6	1
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△17	10
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△3	△0
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△26	3
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	△0	△63
修繕引当金の増減額(△は減少)	16	16
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,013	232
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△1,309	△39
受取利息及び受取配当金	△136	△138
支払利息	112	158
持分法による投資損益(△は益)	△285	△324
デリバティブ評価損益(△は益)	△764	△559
固定資産除売却損益(△は益)	△17	△49
投資有価証券売却損益(△は益)	△26	6
売上債権の増減額(△は増加)	5,760	3,018
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,355	1,040
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,084	△3,487
長期未払金の増減額(△は減少)	△38	△161
その他	△1,784	514
小計	6,319	11,239
利息及び配当金の受取額	154	169
利息の支払額	△118	△154
法人税等の支払額	△3,310	△1,076
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,045	10,178

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,721	△8,892
有形固定資産の売却による収入	618	469
無形固定資産の取得による支出	△1,164	△1,327
投資有価証券の取得による支出	△307	△355
投資有価証券の売却による収入	322	144
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	100
貸付けによる支出	△90	△20
貸付金の回収による収入	620	615
その他	△90	73
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,812	△9,191
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,388	△1,758
長期借入れによる収入	3,900	10,309
長期借入金の返済による支出	△5,409	△5,926
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	97	153
配当金の支払額	△1,837	△1,708
非支配株主への配当金の支払額	△6	△5
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△8	△3
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△180	△244
財務活動によるキャッシュ・フロー	△56	814
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,822	1,802
現金及び現金同等物の期首残高	23,772	22,547
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,949	24,349

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2022年12月1日至2023年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	エネルギー& ソリューションズ 事業	エンジニア リング& メンテナンス事業	ハウジング事業	カーライフ サポート事業	アニマル ヘルスケア事業
売上高					
都市ガス	42,341	—	—	—	—
LPガス	21,860	—	—	—	—
電力	12,639	—	—	—	—
土木工事、建築工事、設備工事	—	22,084	—	—	—
住宅、建築資材	—	—	22,656	—	—
自動車販売・整備	—	—	—	13,392	—
動物用医薬品	—	—	—	—	19,026
不動産賃貸・売買・仲介、ホテル	—	—	—	—	—
その他	22,749	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	99,591	22,084	22,656	13,392	19,026
その他の収益(注)4	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	99,591	22,084	22,656	13,392	19,026
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,701	4,276	12	6	0
計	101,292	26,361	22,668	13,398	19,026
セグメント利益又はセグメント損失(△)	3,021	1,995	△498	△187	265

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	プロパティ事業	計				
売上高						
都市ガス	—	42,341	—	42,341	—	42,341
LPガス	—	21,860	—	21,860	—	21,860
電力	—	12,639	—	12,639	—	12,639
土木工事、建築工事、設備工事	—	22,084	—	22,084	—	22,084
住宅、建築資材	—	22,656	—	22,656	—	22,656
自動車販売・整備	—	13,392	—	13,392	—	13,392
動物用医薬品	—	19,026	—	19,026	—	19,026
不動産賃貸・売買・仲介、ホテル	3,191	3,191	—	3,191	—	3,191
その他	—	22,749	1,044	23,793	118	23,911
顧客との契約から生じる収益	3,191	179,941	1,044	180,985	118	181,104
その他の収益(注)4	—	—	187	187	—	187
外部顧客への売上高	3,191	179,941	1,231	181,173	118	181,291
セグメント間の内部売上高又は振替高	377	6,375	1,378	7,753	△7,753	—
計	3,569	186,316	2,610	188,927	△7,635	181,291
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△22	4,574	93	4,668	△326	4,341

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車部品製造、割賦販売及びリース等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△326百万円には、セグメント間取引消去780百万円、全社費用△1,106百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
  4. 「その他の収益」は、リースに係る収益等を含んでおります。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)
- エネルギー&ソリューションズ事業において、遊休資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては180百万円であります。
- カーライフサポート事業において、遊休資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては68百万円であります。
- プロパティ事業において、事業用資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては551百万円であります。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2023年12月1日至2024年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	エネルギー& ソリューションズ 事業	エンジニア リング& メンテナンス事業	ハウジング事業	カーライフ サポート事業	アニマル ヘルスケア事業
売上高					
都市ガス	34,456	—	—	—	—
LPガス	22,414	—	—	—	—
電力	11,418	—	—	—	—
土木工事、建築工事、設備工事	—	22,120	—	—	—
住宅、建築資材	—	—	24,179	—	—
自動車販売・整備	—	—	—	12,074	—
動物用医薬品	—	—	—	—	19,360
不動産賃貸・売買・仲介、ホテル	—	—	—	—	—
その他	23,318	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	91,607	22,120	24,179	12,074	19,360
その他の収益(注)4	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	91,607	22,120	24,179	12,074	19,360
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,676	4,001	12	5	0
計	93,284	26,121	24,192	12,080	19,361
セグメント利益又はセグメント損失(△)	3,406	1,822	△91	△270	99

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	プロパティ事業	計				
売上高						
都市ガス	—	34,456	—	34,456	—	34,456
LPガス	—	22,414	—	22,414	—	22,414
電力	—	11,418	—	11,418	—	11,418
土木工事、建築工事、設備工事	—	22,120	—	22,120	—	22,120
住宅、建築資材	—	24,179	—	24,179	—	24,179
自動車販売・整備	—	12,074	—	12,074	—	12,074
動物用医薬品	—	19,360	—	19,360	—	19,360
不動産賃貸・売買・仲介、ホテル	5,751	5,751	—	5,751	—	5,751
その他	—	23,318	1,032	24,350	127	24,478
顧客との契約から生じる収益	5,751	175,093	1,032	176,126	127	176,253
その他の収益(注)4	—	—	171	171	—	171
外部顧客への売上高	5,751	175,093	1,204	176,297	127	176,425
セグメント間の内部売上高又は振替高	374	6,071	1,471	7,543	△7,543	—
計	6,125	181,165	2,676	183,841	△7,415	176,425
セグメント利益又はセグメント損失(△)	51	5,018	26	5,044	△417	4,626

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車部品製造、割賦販売及びリース等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△417百万円には、セグメント間取引消去774百万円、全社費用△1,192百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 「その他の収益」は、リースに係る収益等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。